

8. 外国人の就労について

(1) 外国人の雇用状況

(1) これまでに外国人を雇用したことがありますか。(非正規従業員を含む)【1つに○】

外国人の雇用状況については、「雇用したことはない」が73.8%と最も高く、次いで「現在雇用している」が15.3%、「現在雇用していないが過去に雇用したことがある」が10.9%の順となっている。

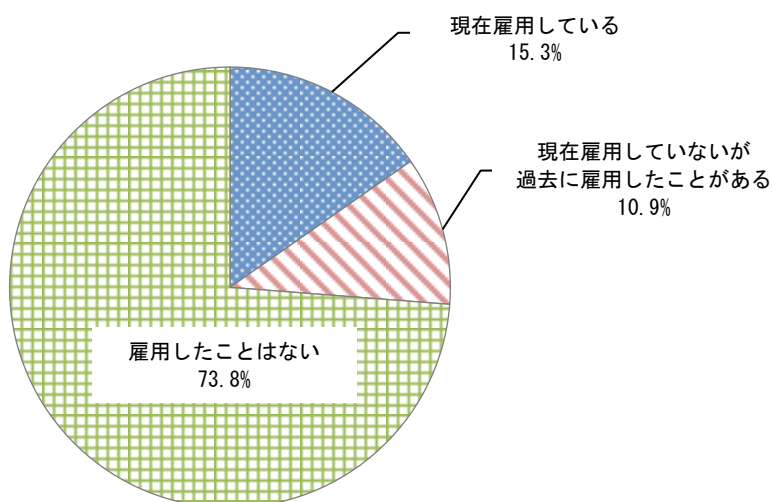
前回調査との比較では、「現在雇用している」が7.8ポイント増加している。

業種別でみると、〈宿泊業、飲食サービス業〉を除くすべての層で「雇用したことはない」の割合が最も高くなっている。

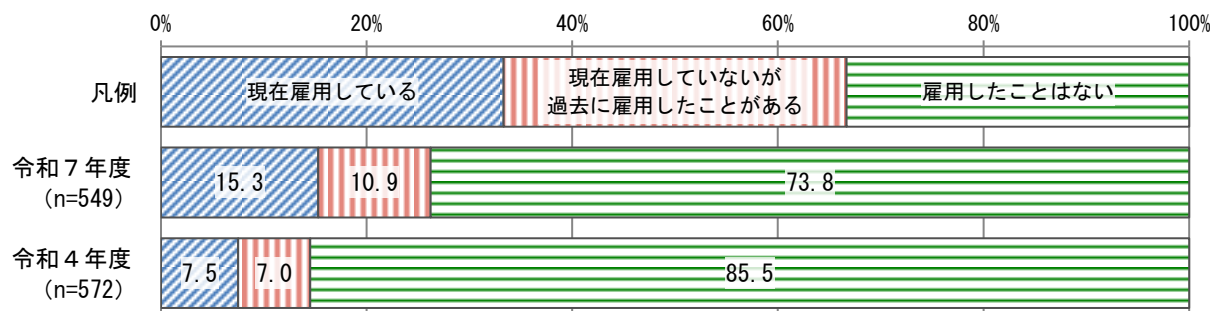
また、〈宿泊業、飲食サービス業〉では「現在雇用していないが過去に雇用したことがある」が42.9%と最も高く、他の層より25ポイント以上高くなっている。

従業員規模別でみると、従業員規模が大きい層ほど「現在雇用している」の割合が高くなっており、〈300人以上〉では41.2%となっている。

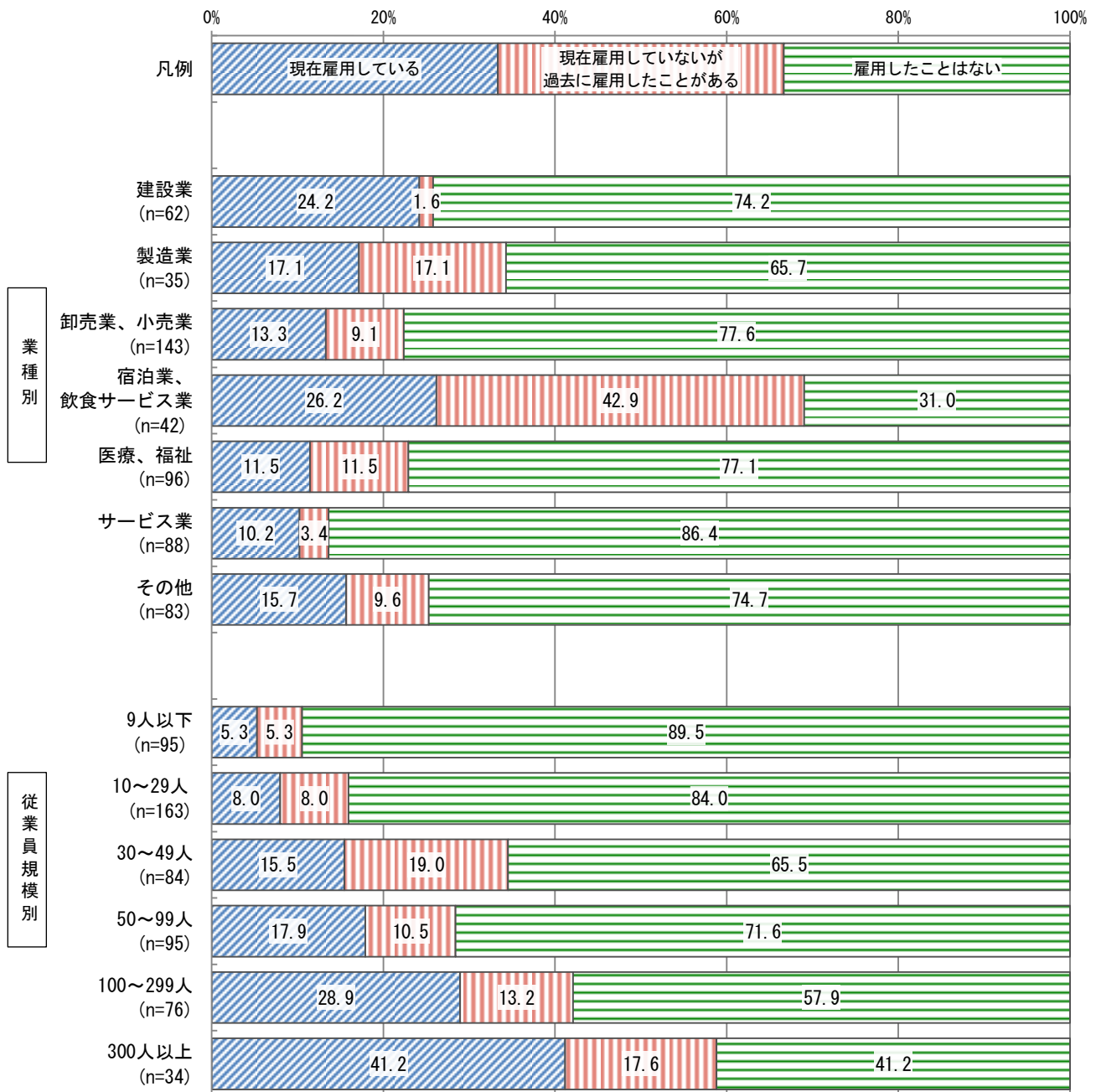
■外国人の雇用状況〔回答数=549〕



【前回調査との比較】



【業種別／従業員規模別（外国人の雇用状況）】



(2) 今後の外国人の雇用意向

(2) 今後、外国人を雇用したいと考えていますか。(非正規従業員を含む)【1つに○】

今後の外国人の雇用意向については、「雇用したいと思わない」が61.5%と最も高く、次いで「雇用したい」が38.5%の順となっている。

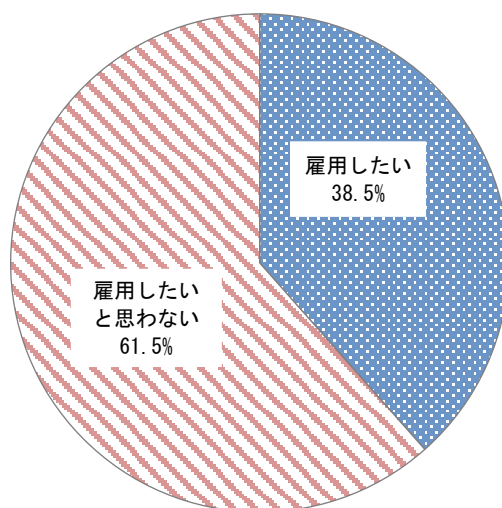
前回調査と比較すると、「雇用したい」が13.3ポイント増加している。

業種別でみると、〈建設業〉、〈宿泊業、飲食サービス業〉で「雇用したい」が5割台となっている。

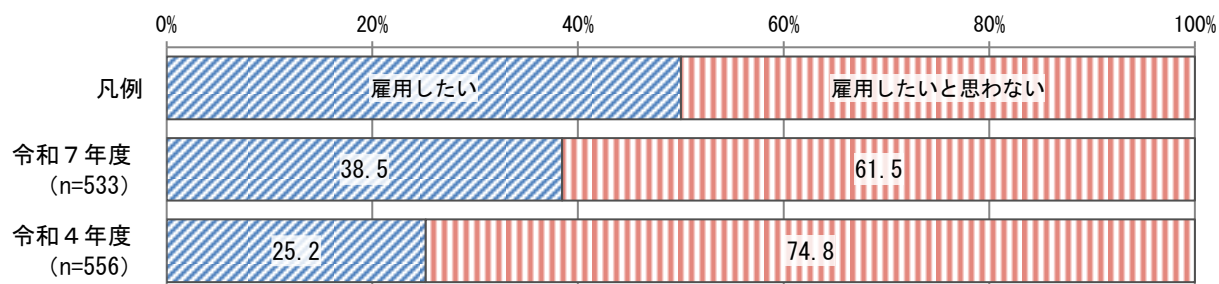
従業員規模別でみると、99人以下の層で「雇用したいと思わない」が、100人以上の層で「雇用したい」が、それぞれ高くなっている。

特に、〈300人以上〉の層では、「雇用したい」が75.8%と、その他の層より23ポイント以上高くなっている。

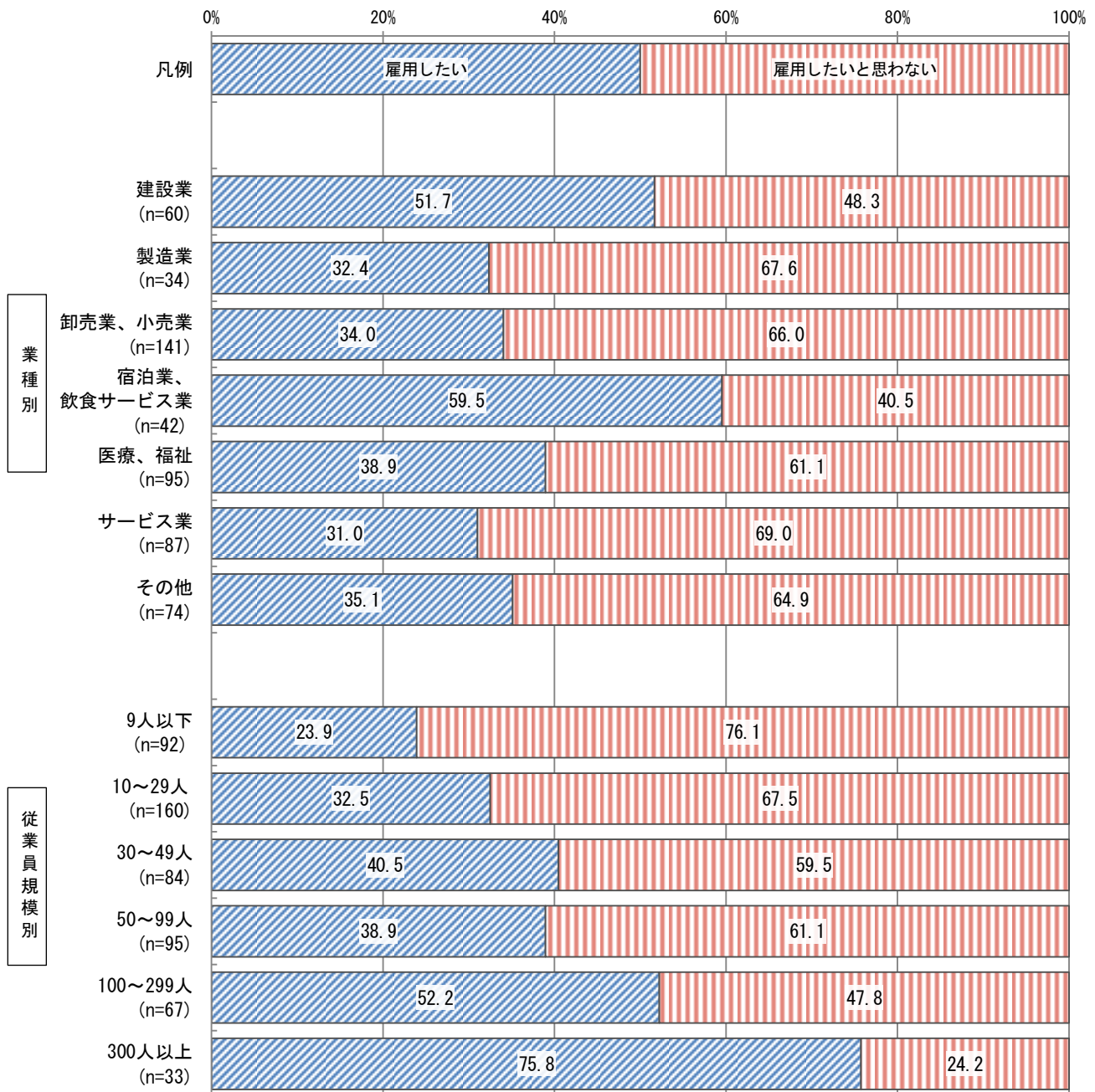
■今後の外国人の雇用意向〔回答数=533〕



【前回調査との比較】



【業種別／従業員規模別（今後の外国人の雇用意向）】



(3) 外国人を雇用するにあたっての課題

(3) 外国人を雇用するにあたっての課題はどのようなものがあると考えますか。【あてはまるもの全てに○】

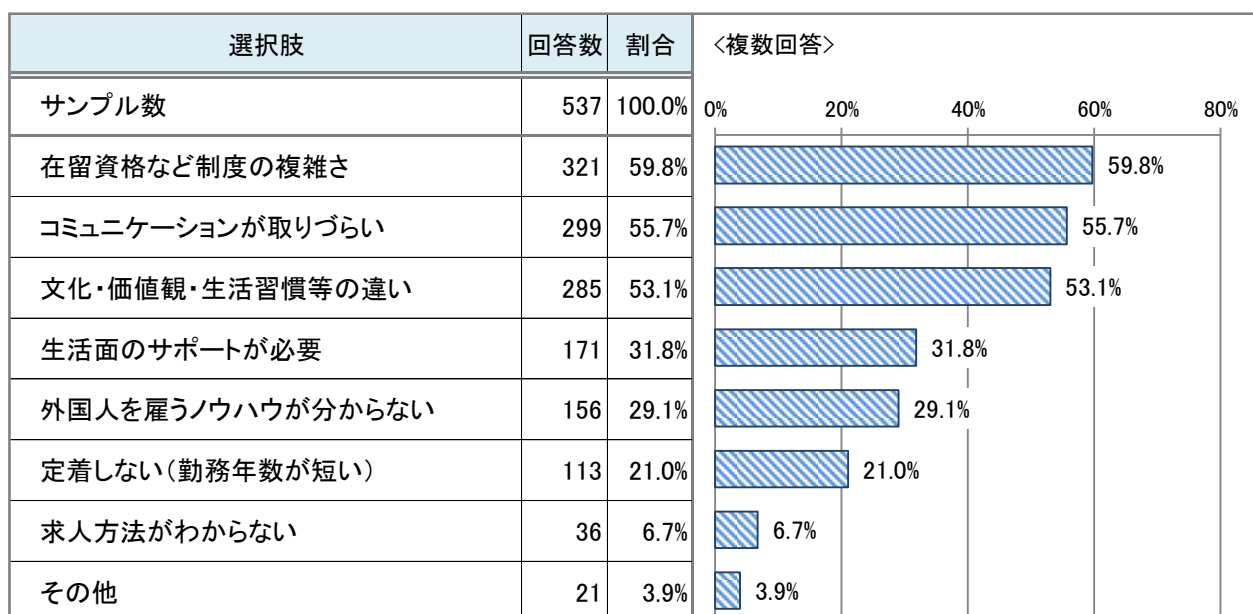
外国人を雇用するにあたっての課題については、「在留資格など制度の複雑さ」が 59.8%と最も高く、次いで「コミュニケーションが取りづらい」が 55.7%、「文化・価値観・生活習慣等の違い」が 53.1%の順となっている。

前回調査との比較では、「文化、価値観・生活習慣等の違い」が 13.3 ポイント、「在留資格など制度の複雑さ」が 11.9 ポイント、それぞれ増加している。

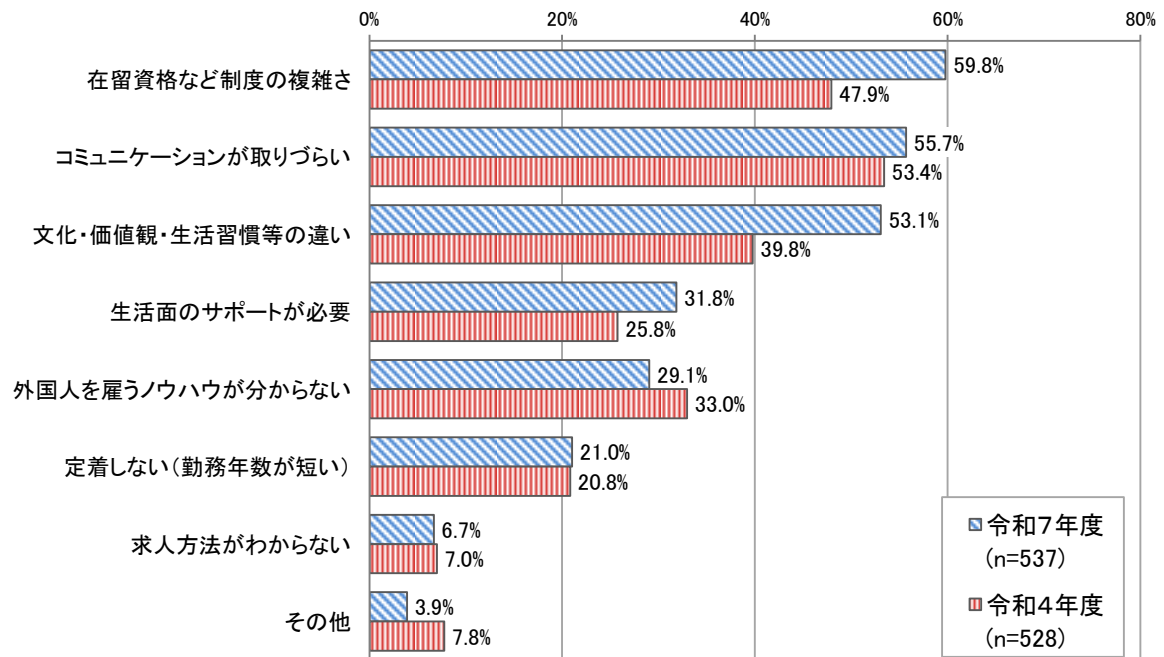
業種別でみると、〈建設業〉を除いたすべての層で「在留資格など制度の複雑さ」、「コミュニケーションが取りづらい」、「文化・価値観・生活習慣等の違い」が上位 3 位以内となっており、〈建設業〉では「在留資格など制度の複雑さ」、「文化・価値観・生活習慣等の違い」に次いで、「生活面のサポートが必要」が 3 位となっている。

従業員規模別でみると、すべての層で「在留資格など制度の複雑さ」、「コミュニケーションが取りづらい」、「文化・価値観・生活習慣等の違い」が上位 3 位以内となっている。

■ 外国人を雇用するにあたっての課題〔回答数＝537〕



【前回調査との比較】



【業種別／従業員規模別（外国人を雇用するにあたっての課題）】

※ 黒色は第1位、灰色は第2位、白色は第3位の項目

上段: 回答数 下段: 回答割合 (%)		合計	複雑さ 在留資格 など制度の	コミュニケーション が取りづ らいシ ョン	文化・価値観・生活 の違い	定着しない (勤務年 数が短い)	生活面のサ ポートが 必要	求人方法が わからな い	外国人を雇 うノウ ハ	その他
業 種 別	建設業	60 100%	45 75.0%	24 40.0%	30 50.0%	15 25.0%	26 43.3%	4 6.7%	16 26.7%	2 3.3%
	製造業	34 100%	19 55.9%	21 61.8%	21 61.8%	7 20.6%	13 38.2%	4 11.8%	7 20.6%	1 2.9%
	卸売業、小売業	141 100%	86 61.0%	79 56.0%	70 49.6%	29 20.6%	38 27.0%	10 7.1%	53 37.6%	3 2.1%
	宿泊業、 飲食サービス業	42 100%	24 57.1%	23 54.8%	22 52.4%	14 33.3%	11 26.2%	2 4.8%	11 26.2%	1 2.4%
	医療、福祉	92 100%	55 59.8%	53 57.6%	50 54.3%	18 19.6%	32 34.8%	5 5.4%	23 25.0%	3 3.3%
	サービス業	86 100%	47 54.7%	51 59.3%	48 55.8%	19 22.1%	27 31.4%	8 9.3%	28 32.6%	6 7.0%
	その他	82 100%	45 54.9%	48 58.5%	44 53.7%	11 13.4%	24 29.3%	3 3.7%	18 22.0%	5 6.1%
従 業 員 規 模 別	9人以下	88 100%	46 52.3%	42 47.7%	34 38.6%	24 27.3%	20 22.7%	9 10.2%	28 31.8%	3 3.4%
	10～29 人	161 100%	90 55.9%	90 55.9%	81 50.3%	34 21.1%	43 26.7%	12 7.5%	47 29.2%	9 5.6%
	30～49 人	83 100%	49 59.0%	43 51.8%	43 51.8%	17 20.5%	22 26.5%	2 2.4%	25 30.1%	4 4.8%
	50～99 人	95 100%	69 72.6%	59 62.1%	58 61.1%	21 22.1%	37 38.9%	8 8.4%	34 35.8%	3 3.2%
	100～299 人	75 100%	44 58.7%	46 61.3%	48 64.0%	13 17.3%	32 42.7%	2 2.7%	14 18.7%	1 1.3%
	300人以上	34 100%	22 64.7%	19 55.9%	21 61.8%	4 11.8%	16 47.1%	3 8.8%	8 23.5%	1 2.9%

(4) 外国人の在留資格別構成

(4) 外国人の雇用人数を在留資格別にご記入ください。【数字を記入】

外国人の在留資格別構成については、「技能実習」が 40.9%と最も高く、次いで「特定技能」が 26.4%、「永住者、定住者、日本人の配偶者等」が 16.8%の順となっている。

性別構成については、「男性」が 48.0%、「女性」が 52.0%となっている。

前回調査との比較では、「特定技能」が 18.5 ポイント増加、「技能実習」が 12.8 ポイント減少している。

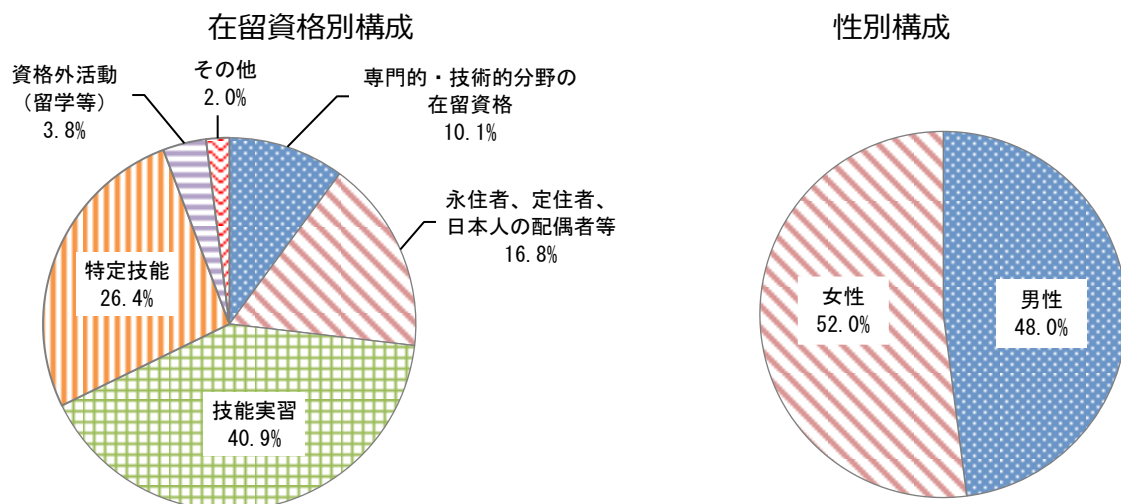
性別でみると、〈男性〉〈女性〉ともに「技能実習」が最も高く、次いで「特定技能」、「永住者、定住者、日本人の配偶者等」の順となっている。

また、〈男性〉では「専門的・技術的分野の在留資格」が 14.3%と〈女性〉より 8 ポイント高く、〈女性〉では「技能実習」が 45.7%と〈男性〉より 10.2 ポイント高くなっている。

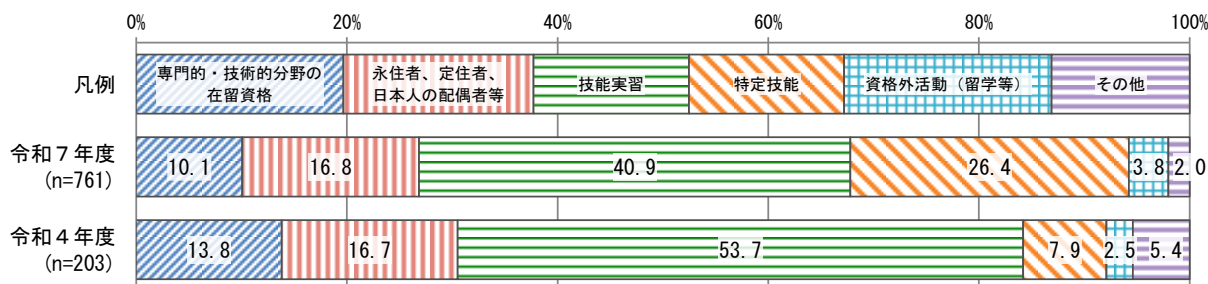
業種別でみると、〈建設業〉、〈製造業〉で「技能実習」が 6 割台、〈医療、福祉〉で「特定技能」が 71.6%、〈サービス業〉で「専門的・技術的分野の在留資格」が 50.0%、〈その他〉で「永住者、定住者、日本人の配偶者等」が 55.8%と、他の層より高くなっている。

従業員規模別でみると、299 人以下の層で「技能実習」が、〈300 人以上〉で「永住者、定住者、日本人の配偶者等」が、それぞれ最も高く、特に、「永住者、定住者、日本人の配偶者等」について、〈300 人以上〉で 45.0%と、他の層より 18 ポイント以上高くなっている。

■ 外国人の在留資格別構成〔対象者数 = 761、回答数 = 80〕

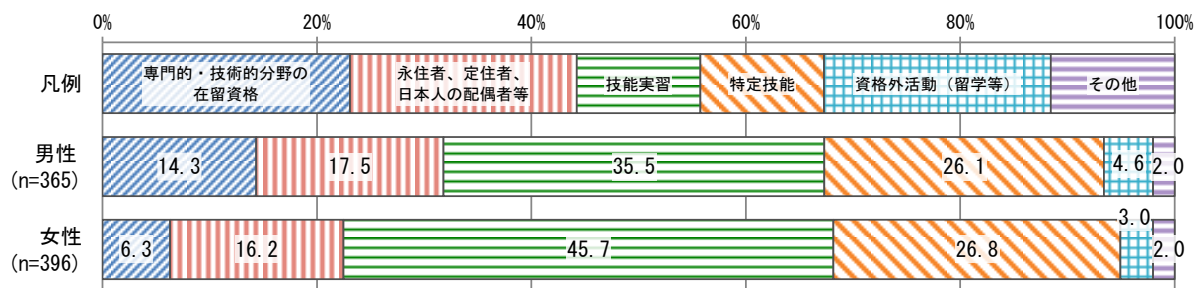


【前回との比較】

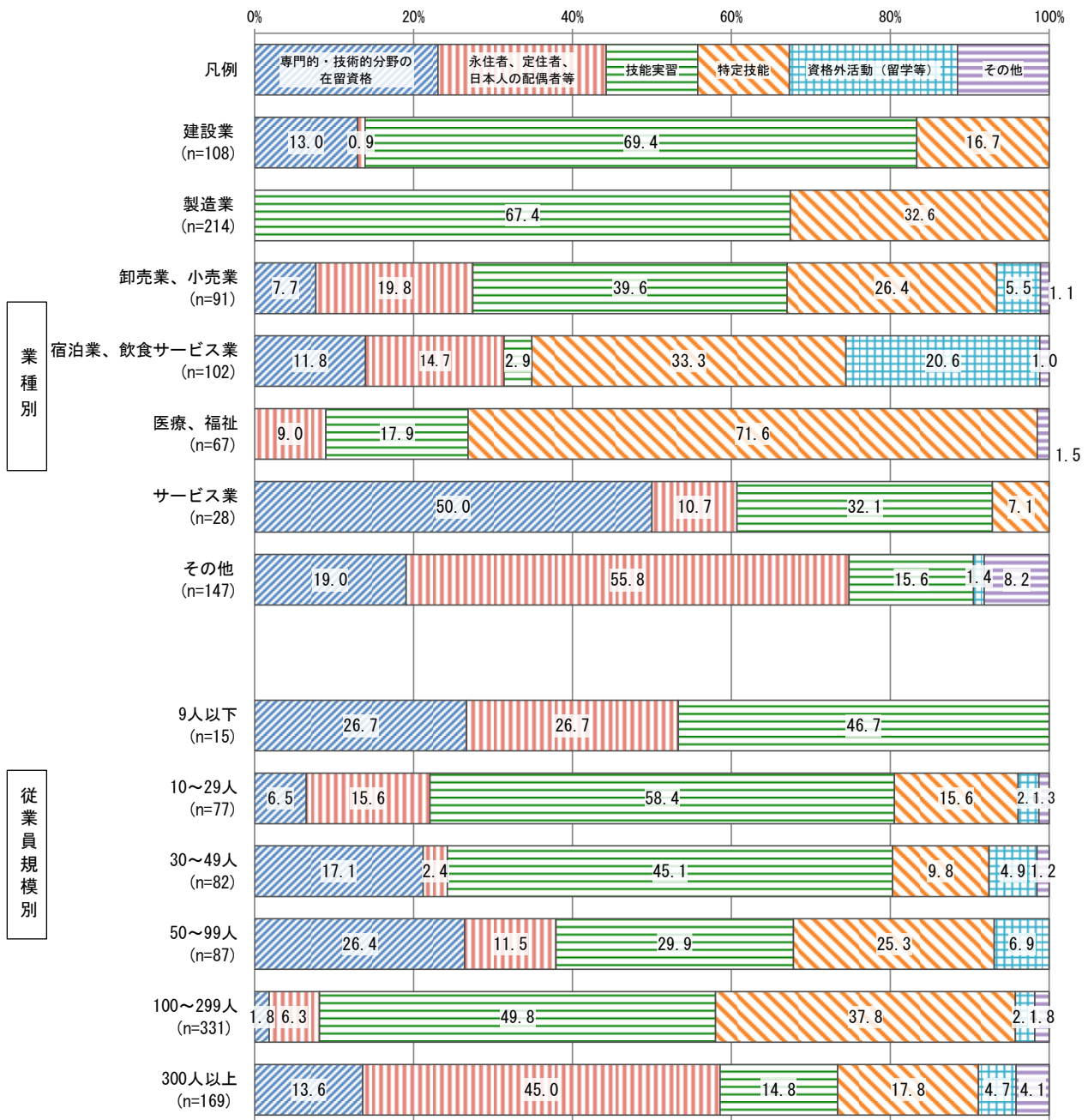


※前回との比較のグラフの n は対象者数を表す。

【性別（外国人の在留資格別構成）】



【業種別／従業員規模別（外国人の在留資格別構成）】



※性別、業種別／従業員規模別のグラフの n は対象者数を表す。

（５）外国人を雇用している（今後雇用したい）理由

（５）外国人を雇用している（または雇用したい）理由についてお答えください。【あてはまるもの全てに○】

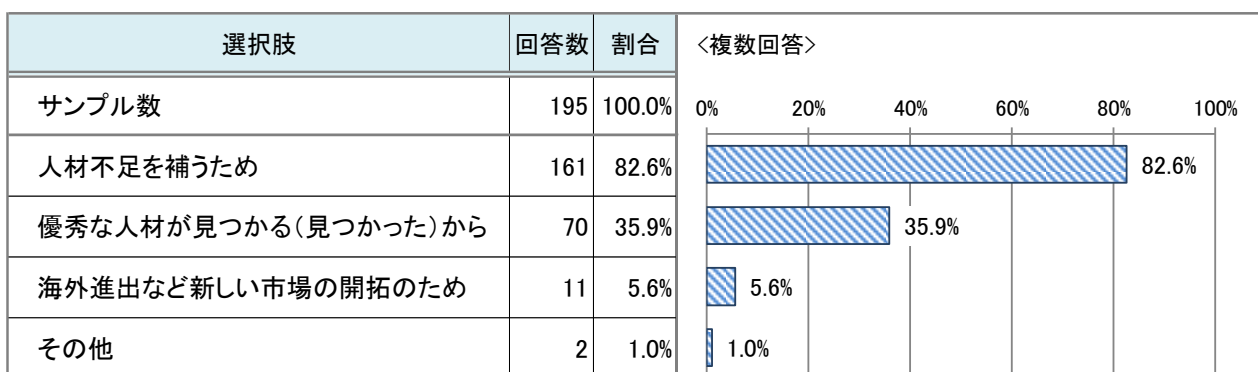
外国人を雇用している（今後雇用したい）理由については、「人材不足を補うため」が82.6%と最も高く、次いで「優秀な人材が見つかる（見つけた）から」が35.9%、「海外進出など新しい市場の開拓のため」が5.6%の順となっている。

前回調査との比較では、「人材不足を補うため」が20.2ポイント増加、「優秀な人材が見つかる（見つけた）から」が8.9ポイント減少している。

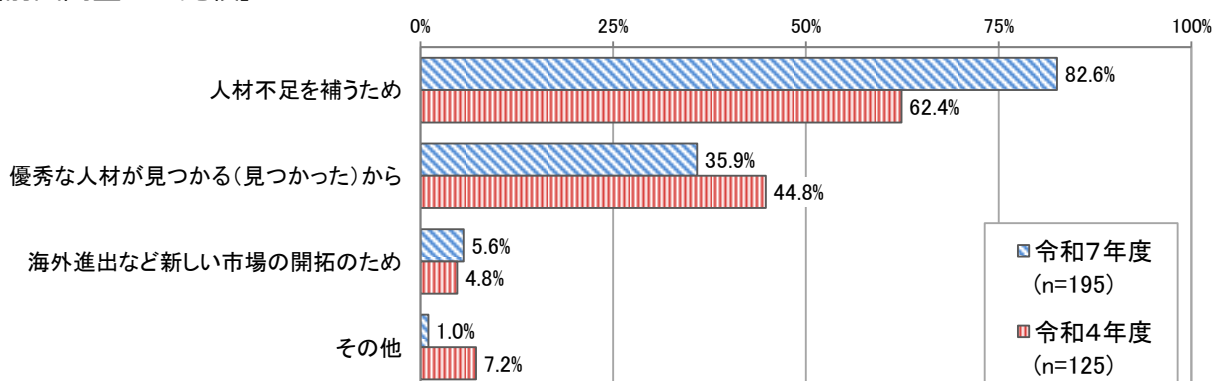
業種別でみると、〈その他〉では「優秀な人材が見つかる（見つけた）から」が59.1%、その他の層で「人材不足を補うため」が8～9割台と、それぞれ最も高くなっている。

従業員規模別でみると、すべての層で「人材不足を補うため」が最も高く、次いで「優秀な人材が見つかる（見つけた）から」の順となっている。

■外国人を雇用している（今後雇用したい）理由〔回答数＝195〕



【前回調査との比較】



【業種別／従業員規模別（外国人を雇用している（今後雇用したい）理由）】

※ は第1位、 は第2位、 は第3位の項目

上段：回答数 下段：回答割合（％）		合計	人材不足を補うため	（優秀な人材が見つかから）	海外進出のため新しい市場の開拓	その他
業種別	建設業	31	26	12	1	1
		100%	83.9%	38.7%	3.2%	3.2%
	製造業	10	9	1	0	0
		100%	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	卸売業、小売業	49	44	11	3	0
		100%	89.8%	22.4%	6.1%	0.0%
	宿泊業、飲食サービス業	24	20	10	5	0
		100%	83.3%	41.7%	20.8%	0.0%
	医療、福祉	35	31	11	0	0
		100%	88.6%	31.4%	0.0%	0.0%
	サービス業	24	20	12	2	0
		100%	83.3%	50.0%	8.3%	0.0%
	その他	22	11	13	0	1
		100%	50.0%	59.1%	0.0%	4.5%
従業員規模別	9人以下	17	14	6	0	0
		100%	82.4%	35.3%	0.0%	0.0%
	10～29 人	50	40	19	3	1
		100%	80.0%	38.0%	6.0%	2.0%
	30～49 人	32	28	13	4	0
		100%	87.5%	40.6%	12.5%	0.0%
	50～99人	37	29	14	1	1
		100%	78.4%	37.8%	2.7%	2.7%
	100～299人	34	29	9	0	0
		100%	85.3%	26.5%	0.0%	0.0%
	300人以上	25	21	9	3	0
		100%	84.0%	36.0%	12.0%	0.0%